# 80年つなぐ平和のバ戦争を知らない世代

5 月 18 日 平和コンサ 加藤登紀子 for peace 80億の祈り





二度と戦争をしない憲法を持つ国とな た。これからも美しい星を守らなけれ り、平和のバトンを80年守ってこられ 曲の合間に加藤さんは自身の生い立ち 和への祈りを込めた歌を届けました。 さんがホー シンガーソングライター 会主催)が豊科公民館で開かれました。 する安曇野平和コンサ 市制施行20周年と戦後80周年を記念 「日本は戦争が終わった時に ルを埋めた約7 - の加藤登紀子 00人に平 (実行委員

感じた」と語りました。 多くて心配。母が話してくれた戦争 で平和がおびやかされるようなことが きることが多い。ウクライナなど世界 子さん(81)は「加藤さんの歌は共感で 話を思い出し、平和が一番だと改めて 加藤さんのファンだという財津喜代 0)

来場者は真剣な表情で見入り、



ばならない」と語り、 全20曲を熱唱し

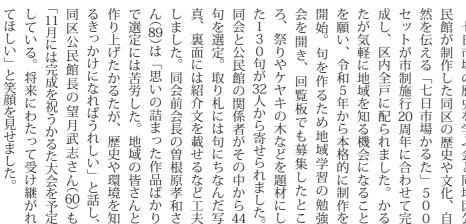
和の尊さをかみしめていました。 子ども達が描いた原画パネルも展示さまた、会場ロビーにはウクライナの

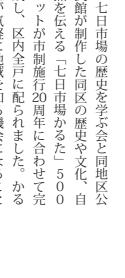


### 地域の魅力 かるたに込めて受け継ぐ

区民が地域の魅力をよみつくる七日市場かるた









ぶりの開催となった今回は、全国から ター「みらい」で開かれました。9 彰式と記念講演会が穂高交流学習セン 自然写真の新人発掘を行う写真賞の表 70人・97作品の応募がありました。 豪雪地帯の自然とそこに暮らす人を 田淵行男の業績を後世に残し、山岳・

たい」と意欲を高めていました。 (15・明科七貴)は「受賞は信じられ 安曇野市長賞を受賞した矢花沙織さん 瞬間をとらえた作品でジュニアの部 た。また、今回は新たな試みとしてジュ 感謝したい」と話し、受賞を喜びまし な励みとなった。支えてくれた家族に 島県只見町)は表彰式で「受賞は大き 行男賞を受賞した中野陽介さん(38・福 撮影したモノクロ写真が評価され田淵 ニアの部を創設。野鳥が昆虫を食べる い気持ち。今後は風景写真にも挑戦

を解説。 田淵の情熱に思いを巡らせ、 る田淵が実践した自然との向き合 の飯沢耕太郎さんが山岳写真から見え その後の記念講演では、選考委員長 参加者は生誕120年となる 講演に聞 方

### 黒光が愛したオ 時代を超えて響く音色 ル グガン

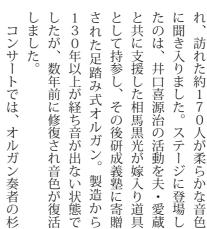
6 月 14 日 安曇野に息づく音楽の調ベコンサ

研成義塾ゆかりのオルガンと歌の

ト(井口喜源治記念館主催)が穂







れました。 通った歌声に感動した」。合唱団長のの音が懐かしい。優しい音色と透き池田町)は「小学校で弾いたオルガン 安曇野で歌声を響かせたい が素晴らしく、共に歌えたことに感謝。野本貞子さん(77・穂高有明)は「音色 来年は合唱団も創立20年。これからも 歌う場面もあり、会場は一体感に包ま 「早春賦」などを披露。 本周介さん、ソプラノ歌手の原謡子さ ん、安曇野混声合唱団が「仰げば尊し」 訪れた中村寛治さん(78 観客と市歌を



## 偉大なナチュラリストを追って 生まれる新たな可能性

8 月 10 日 第7回田淵行男賞写真作品公募 表彰式

